

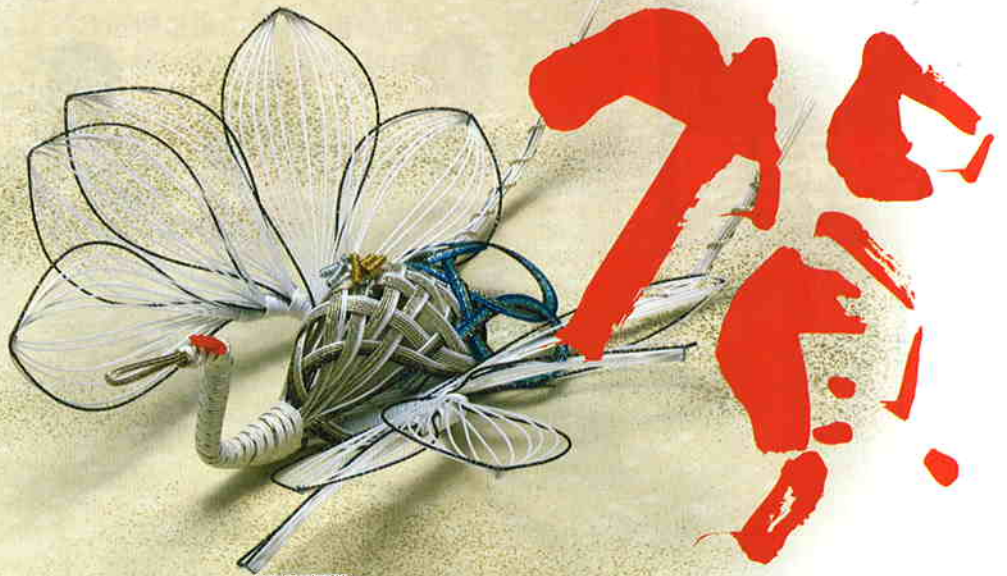
# おふん高原よきかん

神岡・上宝共通版  
Vol.27  
H21.1.8発行

発行者：株式会社神岡衛生社 電話：0578-82-0337 E-mail：jimu@k-eisei.co.jp



株式会社神岡衛生社  
代表取締役社長 川上 幸延



あけましておめでとうございませす  
皆さま方には、お健やかに平成二十一年の初春  
をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。  
昨年、地域の皆さま方のご支援をいただき、  
一年の業務を滞りなく終了することが出来まし  
たことを、厚く感謝申し上げます。  
原油価格の高騰、サブプライム破綻に始まった  
世界的な金融危機等々、昨年は激動の一年であつ  
たと思われませす。  
グローバル化の時代は、この地にあつても短  
期間のうちに影響が現れませすから、当然先行きの  
不安を拭うことはできません。  
しかしながら、時代相がどうあろうと、私たち  
はこの地で、この時代を生きていかなければなり  
ません。  
今風の言葉でいえば、再建の神様ともいうべき  
二宮尊徳が、  
「このあきの かぜかあらしか しらねども き  
まうのつとめの たくささるなり」と歌つており  
ませす。  
植えた稲が秋の台風で駄目になるかもしれない  
が、それでもいま目の前にある田の草をとらなけ  
ればならない、という意味になるうかと思われま  
せす。  
将来がどうであろうと、私たちは今日一日の仕  
事に、精一杯まごころを込め、工夫を凝らしなが  
ら、より良い内容を求めていかなければならない  
ということではないでしょうか。  
本年は丑年であります。たとえ遅くとも、牛の  
ようにゆっくり一歩ずつ、大地に足跡を印してい  
く覚悟が必要と思われませす。  
当社は、そういう思いを胸に、今年も地道に地  
域の皆さま方にお役に立てるよう、確かな歩みを  
続けて参りたいと思つております。社員一丸とな  
つて、サービスや技術の向上に努めて参りますの  
で、何卒変わらぬご愛顧をお願い申し上げます。  
皆さま方の益々のご発展とご健康をお祈り申  
し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

お気軽にお問い合わせ下さい。



株式会社 神岡衛生社 TEL0578-82-0337  
FAX0578-82-5846

## 業務内容

- 一般廃棄物収集運搬/し尿、ゴミ（一般家庭・事業系）
  - 産業廃棄物収集・運搬
  - 浄化槽清掃
  - 浄化槽保守点検
  - 浄化槽工事
  - 上下水道設備工事
  - 下水道施設維持管理（終末処理場・管路）
  - 衛生設備維持管理
  - ビルメンテナンス/床清掃、排水管清掃、貯水槽清掃
  - 水質分析/環境分析、排水分析、建築物飲料水水質検査
  - 環境衛生関連商品販売
- その他、環境衛生に関する全般のご相談に応じます。

URL <http://www.k-eisei.co.jp/>

HAPPY NEW YEAR 2009

今年もよろしくお願ひします



業務課



私たちは、し尿の汲み取りと浄化槽の清掃を、お客様のご要望に応えながら、計画的に作業を行っています。また、ISO9001の認証を取得し、お客様に満足していただける仕事を提供するよう、一生懸命努めてまいりますので、ご意見、ご要望が有りましたら、お気軽にご相談下さいますよう、よろしくお願ひいたします。



設備課



設備課では、生活には欠かせないライフラインの確保のため、給・排水工事や、下水道へのつなぎ込み工事などを行っています。

一昨年、ISO9001の認証を取得し、「顧客の満足度の向上」を目標に、一人一人が個人のレベルアップに努力しています。なお、お客様の協力によるアンケートを基に、住民の皆様に、快適で住みよい生活環境を提供できるよう努めております。

今年も、下水道が供用開始になる地域がありますが、つなぎ込み工事を予定されているご家庭がございましたら、是非ご用命ください。



昨年は、ゴミの分別・収集において、住民の皆様のご理解ご協力をいただきまして、誠に有難うございました。

廃棄物1課は、飛騨市・高山市からの委託収集業務を担当しています。お分かりにならないことなどありましたら、お気軽にお尋ね下さい。

これからも、住民の皆様のご協力を得て、コミュニケーションをとらせていただきながら、きれいな地域づくりのお手伝いをさせていただきたいと思ひます。

本年も、どうぞ宜しくお願いいたします。



廃棄物2課は、事業者様のごみの収集、引越しなどで出た不要物、解体・改築での不要物の運搬処理を行っております。本年も、皆様方のご要望に沿って業務を行いたいと思っております。ご不明なことや、困ったなと思われた時は、お気軽にご相談下さい。

本年も変わらぬご愛顧の程、よろしくお願ひいたします。



メンテナンス課では、浄化槽や下水道などの生活排水処理施設の維持管理、貯水槽清掃や排水管洗浄、ハウスクリーニングなどのビルメンテナンス業務を行っています。

岐阜県では、放流水の透視度が30cm以上の浄化槽を「水再生施設」として認定し、下水道と並ぶ施設として活用することをすすめています。

本年は課内一丸となって、透視度30cm達成を目標に、浄化槽点検を行ってまいりますので、なにとぞ倍旧のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。



分析課は、飛騨地区の下水道をはじめ、浄化槽、プール、河川等の水質分析、それに加え温泉成分の分析も行っています。

住民の皆様から必要とされる分析課を目指し、技術とサービスを向上させていきたいと思っておりますので、本年もよろしくお願ひいたします。



私たちは、事務を主な仕事に何でもする課です。  
皆様の立場になって、社員が心通う仕事ができるよう、電話でのパイプ役を務めます。  
「声の笑顔」をモットーに、明るく元気な対応に心掛けたいと思います。  
「こんなことしてもらえるかな？」のご要望、ご意見にお応えできるよう頑張ります。  
本年もよろしくお願いいたします。



このコーナーでは、当社の社員が、環境衛生の仕事の現場で見たこと、感じたこと、あるいは仕事に関係のない趣味の世界を、交代で思いつづままに書き綴っていきます。

## 「合気道とマナー」

私は6年間東京で生活していました。その間、世田谷にある合気道の町道場に通っていました。合気道は力を使わない武道のため、老若男女、誰もが稽古できる武道です。ダイエットを目的にやる女性も多いようです。私が通っていた道場にも、お年寄りから小学生まで稽古に来ていました。そのような幅広い年齢層の中で、稽古をし、時には和気藹々とお酒を飲んだりしたことは、ものすごくいい経験でした。その中で特に学んだことは、人間としてのマナーでした。朝、道場へ行けば「おはようございます」、帰るときは「さようなら」、稽古が始まる前には必ず「お願いします」、終われば「ありがとうございました」。武道には「礼に始まり、礼に終わる」という言葉がありますが、まさにそのとおりと実感しました。この言葉は武道だけではなく、私たちの普段の生活にもあてはまると思います。しかし、普段の生活では、なにげない朝の挨拶、何かを頼む時の「お願いします」、してもらった時の「ありがとうございました」などありますが、なかなかできないものです。

今年は、当たり前のことが当たり前になれるよう、合気道で学んだことを生かして、努力したいです。

合:相手を想い 気:気が使える 道:道をつくる

「道楽にならないよう気をつける」

川上 大希 (かわかみ だいき)

神岡町出身 平成20年入社  
メンテナンス課にて処理場の維持管理業務に従事

# 赤穂事件

3月14日は浅野内匠頭による松の廊下の刃傷事件、12月14日は赤穂浪士討ち入りの日と、冬は赤穂事件（忠臣蔵）について語られることが多い季節です。法律家の眼から見た赤穂事件を、弁護士の川村和夫先生に語っていただきました。

## 川村和夫先生

名古屋市在住  
名古屋市在住  
弁護士31年目の55歳  
趣味雑多



元禄十四年三月一四日、赤穂藩主浅野内匠頭は江戸城松の廊下において高家筆頭吉良上野介に対し刃傷に及んだ。幕府は浅野は切腹、赤穂藩は断絶、吉良はお構いなしとの採決を即日下した。この事件は浅野のみに非があるという判断を直ちにしたのである。

赤穂に在った家老大石内蔵助は極めて乏しい情報の中で、内匠頭の振舞には相応の事情

があった筈であり、吉良が何の処分も受けないことは承服できないと考えた。が、大石は藩士集団自決や城明渡拒否という方法で幕府に抗議するのではなく、幕府の採決を変更することを目的として以後行動していく。ここに大石という人物の器量の違いを見ることができ。しかも、赤穂藩の幕引きをしながら、この決断と藩士のとりまとめを成し遂げるのである。

赤穂藩の終焉は赤穂藩札の無価値化を意味し、領民にとつては最大級の人災が襲いかかったわけであるが、大石は経済官僚である家老大野九郎兵衛と共にこの危機を六分替、すなわち藩札の額面の六割を本位貨幣で払戻すという離れ業で乗切る。この時の大石の政治家としての能力は歴史を概観しても非凡なものがある。

大石は、まず自らの側に関する処分の変更をなそうとして浅野家再興を計るが、結局幕府はこれを許さない。大石に残る道は吉良に関する採決の変更、即ち「お構いなし」とされた上野介を処刑することであった。これは単純な主君の仇討ちとは全く異なり、幕府の採決を自力救済により否定することを意味する。この一連の考え方は、吉良憎しで固まる堀部安兵衛など江戸急進派にとつては理解しにくいものであり、大石との間に軋轢を生むことになる。

多くの浪士にとつては吉良が敵であった。このような人々をまとめあげ、自己の論理を貫いた大石の統率能力は傑出している。大石

の戦った相手は幕府であり、主人の仇を討つという武士の論理を掲げ、実は、承服できない幕府の採決を實力で覆してみせたのである。従つて、これは駕籠を襲うというような私的な方法ではなく口上書を持参した上での堂々とした戦いによる必要があった。尤も、この点については討入りは魂鎮めの儀式でもあったとの丸谷才一氏の説があり、何故火事装束で討入ったのかに見事に答えるものであつて興味深い。

幕府の採決を内蔵助が承服できないものにしたのは、勅使の体面を傷つけられた將軍綱吉の感情に発した審理の拙速、不尽である。採決の内容も喧嘩両成敗の法を適用しなかった点に疑問があるが、最も大きな過ちは事件当日に採決を下した事にある。

権力者が法を適用してなす採決は、それを受ける者の納得を離れることが甚だしければ法による秩序を乱す原因となる。それは採決の内容のみならず審理過程も重要な要素であり、拙速はまた結論を誤らせる。

ともあれ、赤穂事件は歌舞伎をはじめとして日本の文学芸術に著しい貢献をした。しかし、あまりに多くの人々が厳しい人生を歩むことをこの事件により余儀なくされた。何処かへ去つた寺坂吉右衛門以外の四十六人の処分決定には一か月以上にわたつて当事者からの事実調査と専門家からの意見聴取がなされたが、松の廊下事件が発生した時にこの十分な審理がなされていたらと思わずにはいられないのである。

## しあわせになる条件 その9

明けましておめでとうございます。この一年、皆様がおしあわせでありますよう、お祈りいたしております。

今年は、各界とも波乱含みの幕開けとなりました。

さて、お正月といえば、私の子供の頃の定番の遊びは、福笑いでした。輪郭だけのお多福さんの上に、目隠しで、まゆや目鼻を見当でおいてゆくのです。目隠しを外して見ると、何とも珍妙な出来上がりで、みんなでお腹を抱えて初笑いしたものです。思い出すたびに平和でしあわせな情景が浮かんで、あたたかい気持ちに包まれます。

「笑う門には福来たる」と申します。今年は、是非素敵な笑顔を手につけ、しあわせな毎日をおくって頂きたいものです。とても笑顔どころではないと、お叱りを受けそうですが、この地球上に170万種類もの生物が存在しながら、笑顔が出来るのは、人間だけです。きっと、辛いことのほうが多いだろうからと、神様がプレゼントしてくださったのでしょうか。

笑いと笑顔は、ちがいます。愉快的時、思わずこみあげてくるのが笑いで、心の動きと連動した、いわばプライベートなものです。

反面、笑顔は、感情とは関係なく、意識して作るもので、オフィシャルなものといえます。



尾山敦子  
キャリアカウンセラー

### ポイントは3つ、

- ①口角をあげる
- ②ほれほれうっつりの目もとをする
- ③こめかみを引き上げる、

それだけでOKです。  
1日3分の  
トレーニングで、  
どなたでも出来ます。

売上で1といわれる各業界のトップセールスマン・ウーマンの方々は、例外なく、とても魅力的な笑顔の持ち主です。それは決して天性のものだけではなく、並々ならぬ日々のトレーニングの賜物と伺っております。

人は、その人の別れ際に見せた表情が、一番心に残るのです。どうぞ、とびっきりの笑顔で会う人の心に幸せの種をまきましよう。

顔の造作は、神様がお造りになったものですが、表情は、自ら造っていく自己責任です。いつもありがとうと笑顔で暮らしてきた人と、人のせいにして文句ばかり言い続けてきた人とは、40歳が過ぎると、歴然と表情に違いが出てきます。しあわせへの一番の近道は、何があっても、ありがとうと明るい笑顔でいることです。今年一年、皆様とご一緒に、笑顔アスリートを目指しましょう。